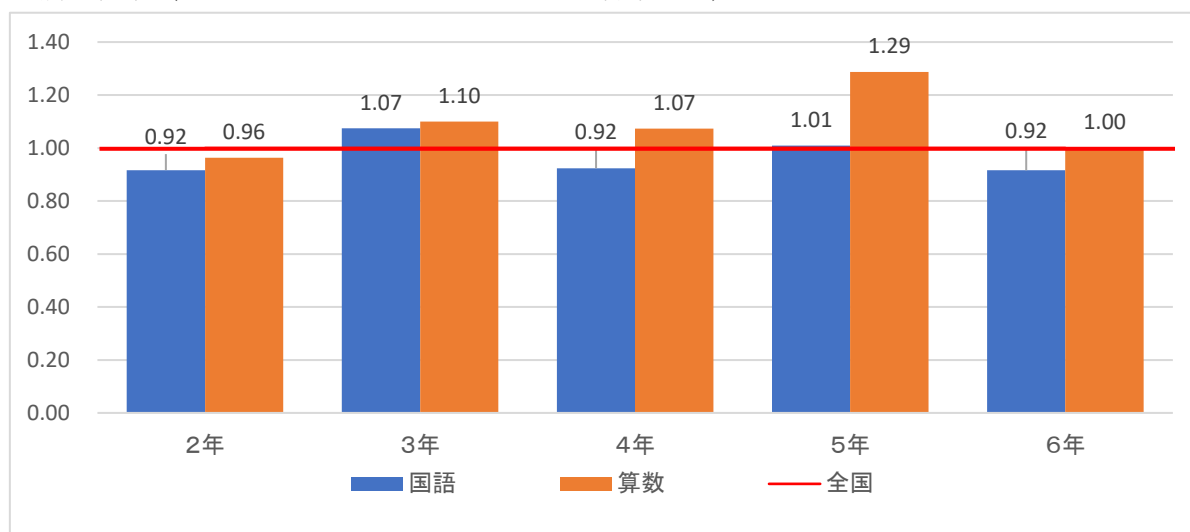


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 中木田中学校区 楠根小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「書くこと」領域については、全国平均を大きく上回る結果であった。引き続き、児童が伝えたい内容を整理して書く学習活動の更なる充実を図っていく。
	算数	「数と計算」「データの活用」領域の正答率が良好であった。基礎問題の確実な定着を図ったうえで、身につけた知識・技能を活用できるように指導を充実させていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」設問が全国平均を上回る結果であった。引き続き、書く活動において、必要な情報を取り上げて整理していく場面を設定していく。
	算数	「図形」領域における「円の直径や円周率との関係」の理解や「数と計算」領域における「除数が小数である場合の除法の計算」の定着は全国平均を上回る結果であった。今後も日常生活に活かせるような数学的な学習活動を多く取り入れていく。
	質問紙	「5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについてと自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」の質問に回答した児童の割合は、全国平均を上回っており、タブレット等が児童の身近な表現ツールになっていることから、引き続きICT器機を活用した取組を進めていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校での合同研修・授業交流と共に全国学力・学習状況調査の結果の共有を行い、「考える力」を身に付け、たくましく生き抜く子の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進している。各教科における小中一貫カリキュラムを踏まえ、小学校から中学校へつながる「家庭学習ノート」の取組や小学6年生の中学校登校日の設定、小6と中3のディベート交流など、小中一貫校として9年間を通した取組を推進している。

【学校】

国語科・算数科を中心に講師を招聘し、全教員が研究授業を行っている。また、授業公開週間を実施し、校区で共有した4観点（聞く力・伝える力・つながる力・学ぶ力）で授業を参観し、教職員同士が学び合い、高め合う機会を設定している。児童の基礎学力を定着させるため、分割習熟度別授業、放課後学習の充実を図っている。